

令和2年度
事業計画及び収支予算書

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	5
事業計画書	9
補助事業等事業一覧表	19
収支予算書	21
収支予算内訳書	25
(参考) 収支予算書 (資金ベース)	27

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年(1988)に設立(平成2年(1990)に法人化、平成24年(2012)に公益財団法人へ移行)され、丹波の自然と文化を住民共有の財産として、維持発展する責務を定めた「丹波の森宣言」(昭和63年9月1日)に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組んできた。

平成30年度には、「丹波の森宣言」から30周年を迎え、これまでの取組の総括を行い、30年という内外情勢の変化や地域環境の変化を踏まえる中で、改めて「丹波の森宣言」に込められた地域づくりの理念の重要性を確認するとともに、「丹波の森づくりのこれから」として新たな取組の方向性を示す「丹波の森づくり30周年記念誌」を発行した。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」SDGsの目標は、「丹波の森宣言」にも呼応しており、丹波地域の持続可能な発展に向け、住む人、行き交う人が自然や文化を大切にし、安らぎと活力に満ち、生き生きと光り輝く地域づくりを推進していく。

これまでの丹波の森づくり活動の実践により、国の重要伝統的建造物群保存地区「篠山」、「福住」の選定、丹波国人衆として勇猛果敢に明智光秀に対峙した「黒井城」、「八上城」の国指定史跡指定、限界集落からの再生を果たした「集落丸山」、「H26丹波豪雨災害」から見事に復興を遂げた丹波市の被災地の姿など丹波の森づくりは、着実に実を結びつつある。また、恐竜・哺乳類化石を活かした丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの推進や本州で一番低い中央分水界(分水嶺)をまちの宝とする氷上回廊水分れフィールドミュージアムの拠点施設整備が始められるなど広域連携を意識した取組も着実に進んでいる。

こうした取組を着実に未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を推進、支援する。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」を引き続き開催するとともに、丹波文化団体協議会等の活動を支援することにより、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、令和2年度の取組として「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」を重要研究テーマとして位置づけ、大学や地域、行政機関と連携し、研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

また、当協会が指定管理を担っている「県立丹波の森公苑」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」では、丹波の森宣言の実践施設として、施設間の連携を強化し、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

(1) 魅力ある地域づくりの推進

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

1 丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、昨年度に引き続き”シンボルの森”として里山を楽しめる施設となるよう、里山遊歩道への案内板等の整備を行う。

2 豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援を充実させる。また生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。本年度は、丹波OB大学が創立50周年を迎えるため、記念式典を開催するとともに各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

3 音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。昨年に続き「丹波における伝統文化体験フェスティバル」を開催する丹波文化団体協議会等の活動を支援するなど、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進する。また、丹波の森国際音楽祭シューベルティアアーデたんばを引き続き開催し、県内外からのクラシックファンなどの誘客をさらに推進する。

また、築25年を迎える丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を行う。

- ・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木材研修会や木育キャラバンの充実を図る。

- ・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

さらに、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

- ・「県立丹波並木道中央公園」では、指定管理期間が満了する5年目を迎え、4年間の総括を行うとともに、残すべき田舎の田園景観を都市公園に取り入れた棚田、茅葺き民家、灰屋（はんや）、そして、手入れされた里山とそれを活かす製材所といった当公園の特徴をしっかりと意識し、自然の恵みを考え、知る体験プログラムの充実を図り、兵庫丹波の森協会と兵庫県園芸・公園協会が連携し、次期指定管理の選定を目指す。

当協会が指定管理を行う意義は、「丹波の森宣言」の実践と周知であり、このことをしっかりと踏まえて、森とともに生きてきた丹波の人々の営みを体感できる公園を基本コンセプトとし、内外に広くアピールする。

また、人工林と製材所をもつ公園の特性を生かし、幼児用の木製手作り遊具の更新や積み木などの木製おもちゃのリニューアルを行い親子連れの来園者に対する木育推進活動を展開する。さらには、棚田を活用した赤米や黒大豆、ジャガイモやサツマイモづくりを通して都市住民との交流を進め、丹波の森の魅力を内外に発信する。

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

ア 丹波の森大学の開設

イ ウィーンの森親善訪問事業

ウ 丹波の森研究所

エ 地域づくり支援事業

- ・ 地域づくり支援事業
- ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
- ・ ミニガーデン花プランイベント開催事業
- ・ 丹波の里山づくり発信事業
- ・ シンボルの森里山整備事業

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催

ク 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ケ 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

ア 丹波地域生物多様性保全事業

イ 丹波の森公苑里山事業

ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業

エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

- ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学 4 年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ウ 兵庫県地域高齢者大学 4 年生大学講座（丹波OB大学）創立 50 周年記念事業
- エ 講座「丹波学」の開設
- オ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

【全施設】

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催
- ウ 丹波の森アート作品展の開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 座っ展 -丹波で坐る木の椅子-
- キ 音楽活動団体等への支援

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等
- イ 運営委員会の開催

【全施設】

【全施設】

Ⅱ 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画書

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第30期は、丹波の森で育まれてきた豊かな生態系と生活文化を再認識し、人と人、人と自然が集い、より深く語り合い、支え合うことの楽しさと新たな方法を様々な視点から学ぶ。人口減少が進む中でも、丹波で暮らし働くことの誇りを一人一人が実感し、表現し合えることを目指す。今期も地域に根づく課題解決に繋がる身近で実践的な講義を取り入れ、多世代が参加しやすい土曜日の午前の開催とする。 テーマ 「森と出会う、森に集う」 ・実施時期：5月～1月 9回開催 ・定員：50人 ・受講料：8,000円(学生は無料)	【予算額】 1,168,000 【前年度予算額】 1,143,000
	イ ウィーンの森親善訪問事業 (協会事務局)	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○「ウィーンの森親善訪問の旅」の実施 ・実施時期：7月1日(水)～8日(水) ・募集人員：40名 ・申込締切：4月20日(月) ○オオムラサキへの支援及び情報交換 丹波の森のシンボルである国蝶オオムラサキの保護活動に支援することで丹波の森とウィーンの森の相互交流をPRする。 ○交流花壇設置支援事業	【予算額】 1,318,000 【前年度予算額】 205,000
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○丹波の森づくりの推進にあたり地域課題解決に向けた調査研究 ①小規模集落化に伴う丹波地域の地域環境の保全再生方策の検討 ・丹波地域の地域環境の魅力と課題の把握 ・地域環境を支える地域活動に対する地元住民とIJUターン者の意識評価と課題の把握 ・地域環境を健全に維持するための人材と仕組みの検討 ・地域環境魅力化に向けた保全再生方策の提案 ②小規模集落化に対応した丹波地域の地域再生における人的ポテンシャルの活用方策の検討 ・丹波地域の支援事業とIJUターン者が係る事業の変容過程の把握 ・IJUターン者が係る事業に対する地元住民及びIJUターン者の意識評価と課題の把握 ・IJUターン者と地元住民との連携プロジェクトの検討 ・連携プロジェクトの提案と共有化の推進 ○研究員の情報交換、方向検討、テーマ発掘など 研究員及び丹波県民局、丹波篠山市、丹波市のまちづくり担当者と研究交流会の開催(年2回程度)	【予算額】 8,044,000 【前年度予算額】 5,956,000
エ 地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業 (協会事務局)	地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	○地域づくり重点地区への支援(アドバイザー派遣) 活性化などの取組を行っている地域や自治会等の団体の要請を受け、研究員を含むアドバイザーを派遣する。 (4箇所、年3回程度/箇所)	【予算額】 1,123,000 【前年度予算額】 1,212,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考									
	・たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業 (協会事務局)	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、観光資源、特産品等の開発、人材育成を進める。	○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業に係る事業の推進及び全体進行管理・企画・事業調整プロデューサー業務 ・全体会議(概ね月1回)の開催、進行(構成)丹波県民局、丹波篠山市、丹波市、人と自然の博物館、丹波の森研究所等 ・担当者会議(ミュージアムツアーやイベントなどの事業関係者)の開催、進行	【予算額】 2,000,000 【前年度予算額】 4,200,000 (丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会受託)									
	・ミニガーデン花プランイベント開催事業 (協会事務局)	丹波地域のサイクリングロードの整備の取組みに合わせて、ミニガーデン(コンテナガーデン)の展示箇所を丹波地域内の道の駅など丹波地域の主要スポットに拡大し、地域住民の手により、まち全体を花で飾る取組みを始める。	○ミニガーデン花プランイベント ・展示場所:丹波の森公苑、丹波並木道中央公園、道の駅等 ・実施期間:9月~11月(予定) ・募集等:地域や住民団体、学校等 ・規模:10庭(予定) ○たんばオープンガーデン交流促進 丹波の森公苑としてオープンガーデンに参加し、花緑愛好家との交流を促進し、地域全体に美しいまちづくりを拡げる。 ・開催日:4月、5月の各1日	【予算額】 1,000,000 【前年度予算額】 800,000 (丹波県民局受託)									
	・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局)	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。	○丹波の里山づくり発信事業 モデルとなる里山を地域住民が自ら30年かけて整備し、その活かし方、楽しみ方を広く情報発信する。 ・モデル団体10団体への長期の活動支援 認定したモデル団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。	【予算額】 3,119,000 【前年度予算額】 3,190,850 (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託)									
	・シンボルの森里山整備事業 (協会事務局)	森をまるごと里山ミュージアムにするため、丹波の森づくりの中核施設「シンボルの森」(丹波の森公苑等)で、それぞれの施設の特徴を生かした丹波の森を象徴する上質な里山を順次整備し、里山を楽しめる施設とすることで丹波の森の魅力を地域内外に発信していく。	【整備の状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備場所</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森公苑</td> <td>里山への入口園路の整備</td> <td>里山遊歩道への案内板等の設置</td> </tr> <tr> <td>ささやまの森</td> <td>森のステージの設置</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	整備場所	令和元年度	令和2年度	森公苑	里山への入口園路の整備	里山遊歩道への案内板等の設置	ささやまの森	森のステージの設置	—	【予算額】 5,000,000 【前年度予算額】 15,000,000 (丹波県民局受託)
整備場所	令和元年度	令和2年度											
森公苑	里山への入口園路の整備	里山遊歩道への案内板等の設置											
ささやまの森	森のステージの設置	—											
オ	花づくり活動支援事業 (丹波の森公苑)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) 内 容:草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 講 師:県立フラワーセンター職員 日 程:5月~3月 (年6回:原則として奇数月に開催) 募集定員:70人 (午前・午後の部とも各35人) 受講料:16,000円(年間) ○花と緑の教室(自主活動グループ) 「花と緑の教室」で知識・技術を習得した者をリーダーに、地域単位で教室を開催 内 容:草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 日 程:5月~3月 (年6回:原則として奇数月に開催) 募集定員:15人 受講料:13,600円(年間) ○園芸教室(応用創作講座) 内 容:コンテスト出展を目指し、鉢と草花の選び方から園芸に関する基本を学ぶ。 講 師:但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 日 程:5・6・7・10・12・3月(年6回) 募集定員:36人 受講料:6,000円	【予算額】 1,554,000 【前年度予算額】 1,024,000									

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	カ 丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	地域住民をはじめ、各種団体や企業、丹波篠山市・丹波市など丹波の森づくり団体の交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	体験事業やワークショップを取り入れたフェスティバルを開催 (丹波GOGOフェスタと同時開催予定) ・開催日：10月25日(日) ・内容：ワークショップ、作品展示等	【予算額】 422,000 【前年度予算額】 422,000
	キ 丹波の森収穫祭(なみきみちまつり)の開催 (並木道中央公園)	丹波地域の数多い特産物の収穫を祝うとともに、大人も子どもも楽しめるプログラムを実施することによって都市部からの来場を図り、地域住民と都市住民との交流を深める場とする。 また併せて、丹波地域において取り組まれている「フィールドミュージアム構想の推進」や「森づくり活動」「里山再生」などの活動状況を広くPRし、参画と協働を呼びかける。	「収穫祭」を実りのあるイベントにするためには、地域との連携が何より重要であるため、地域住民を中心とする実行委員会を立ち上げ、兵庫丹波の森協会と共催にて実施する。 また、農業、観光及び恐竜化石など地域資源の創造と保全を担う諸団体や丹波県民局、丹波篠山・丹波両市にも実行委員会の構成団体として参加いただく。具体的な催し内容としては、「食・森・楽・音・竜」の5テーマを基調にさまざまなプログラムを展開していく。 開催日：10月上旬(予定)	【予算額】 1,083,000 【前年度予算額】 1,447,000
	ク 丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。	○工作室における木工クラフトの指導(通年) メニューの変更(ベスト3とワースト3を決定)とアンケート用紙の簡易化による意見聴取(80%以上)。 ○ゴールデンウィークフェスタの開催(5月) 後半の集客率を上げる(読み聞かせ等の導入)。 ○アトリエ作品展(5月) ○芝生広場を活用するグラウンドゴルフ事業(週3回、通年) レストランとの連携 ○第4回たんば絵がみ展 ジュニアの部の創設 ○木に関する情報を提供する事業 ・研修会の開催 他団体との交流や技術指導、古楽器によるコンサート開催 ・木の普及振興事業 木木市、イベントへの参加 ・木育キャラバン事業 訪問先の拡大	【予算額】 2,565,000 【前年度予算額】 2,468,000
	ケ 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	都市公園の健全な利用を図るとともに、地域連携や住民の参画と協働を基本とする都市公園の運営を行い、憩いと安らぎを提供する。また、公園の特性を生かして、環境学習プログラムや都市・農村の交流プログラム等の実施を行うなど適正かつ効率的な公園運営を行う。	○利用促進事業(自主事業・参加型プログラム)の企画・運営(環境学習事業、都市・農村の交流事業、地域づくり支援、企業参加の植樹・森林整備、赤米・黒豆の栽培、木工教室、恐竜の発掘体験など) ○効果的な広報・PRの実施 ・「PARK LIFE」の発行(年4回) ・ホームページの充実 ○協会が管理運営する事業所及び兵庫県園芸・公園協会が管理運営する公園との連携 ○公園の立地する地域団体等との協働事業 ○丹波県民局、丹波篠山市及び丹波市が実施する地域活性化のための諸施策への協力 ・「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム」の拠点施設として、この地域資源を活かした関係各機関の取組みや、園内の「丹波篠山市立太古の生きもの館」との連携・協力	【予算額】 2,128,000 【前年度予算額】 2,228,000
(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	○生物多様性保全に向けた情報発信 ・丹波地域の生物多様性の現状や保全の重要性を自然保護団体や県・市の会議等において情報を発信し、地域住民全体に生物多様性の保全に係る意識を広げていく。 ・自然保護団体等が環境学習を行う場合に、生物多様性に係る教材を提供するなど生物多様性に係る活動調査を支援していく。 ○生物多様性保全の意識向上 地域での実践活動が行えるよう、市民の意識を高め、市民・行政の取組を広げていく。	【予算額】 1,443,000 【前年度予算額】 92,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			<p>○丹波地域における生物多様性の推進に向けた実践プロジェクトの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単位流域における生態系サービスの実態と把握 ・生物多様性を育む流域戦略と提案 ・地域住民による水辺、山辺のリノベーションの実践とモニタリング <p>○フェノロジーカレンダーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェノロジーとは生物季節学という意味で、自然を中心とした年間暦であり、年間の自然と生活・活動の流れが理解できる。 ・時間軸を考慮して、生活の中で自然・文化を守る取組みとして、県立公園を手始めにフェノロジーカレンダーを作成し、PRを図る。 ・令和2年度：ささやまの森公園 丹波年輪の里 丹波並木道中央公園 	
イ	丹波の森公園里山事業 (丹波の森公園)	<p>丹波の森公園の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。</p> <p>また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p>	<p>○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公園里山を拠点とした研修の実施。 日 程：6月～12月、 4講座、計9回開催 募集定員：各回5人 ・里山及び環境学習体験フィールドの整備 森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数26人)」及び「里山整備サポーター(H30創設、会員数15人程度)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き物飼育場の整備を行う。 ○森づくり活動アドバイザーの設置 緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。 ○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導 (20小学校等、2高校、15事業所) ・第11回放蝶会：7月5日(日) ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施 	<p>【予算額】 648,000</p> <p>【前年度予算額】 659,000</p>
ウ	丹波の森公園環境学習推進事業 (丹波の森公園)	<p>里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。</p>	<p>○子ども対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波縄文の森塾の開催 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ(2泊3日)、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察等 期 間：5月～3月(毎月1回) 募集定員：小学3年～6年生 30人 参加費：6,500円 キャンプ6,500円(別途) 	<p>【予算額】 1,470,000</p> <p>【前年度予算額】 1,509,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			<p>○親子・家族対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山ふれあいハイキング 日 程：4月29日(水・祝) 募集定員：30人 参加費：300円(小学生以上) ・さわってみ丹波いきもの大集合 日 程：7月11日(土)～12日(日) 会 場：ゆめタウン丹波 ・国蝶オオムラサキの越冬幼虫探し 日 程：3月 募集定員：30人 <p>○リーダー養成プログラム 縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培う。</p> <p>○環境学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の秋の実り体験 期 間：9月～10月 参加者：丹波篠山市及び丹波市内の保育園児、幼稚園児・小学生及び引率者 ・出前講座の実施 ・公苑における学習支援 <p>○昆虫大捜査線 in 丹波の森公苑 ～ひととはくの昆虫博士といっしょに～ 普段の生活では体験できない自然の中での昆虫採集を通して、実際に「ホンモノ」に触れることで、子どもたちの好奇心や豊かな感性を刺激する。 日 程：8月22日(土) 対 象：親子(小学生以下・保護者同伴) 定 員：なし 参加費：無料</p>	
	エ ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	<p>○基本プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山体験班：草木染め、布スリッパ作り、しめ縄作り等 ・里山伝承班：黒豆栽培、そば道場、ちまき作り等 ・自然学習班：バードウォッチング、植物観察、ヒメボタルの観察等 ・レクリエーション班：深山登山、源流体験、とんど等 ・里山復元班：炭焼き体験、シイタケ作り等 <p>○特別プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山まつり、里山の日特別企画、里山コンサート、里山落語、講演会等 <p>○森の学校(第13期生)</p> <p>○団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用：葉脈しおり作り、木工クラフト等 ・篠山東雲高校「里山文化」授業の支援 	<p>【予算額】 7,625,000</p> <p>【前年度予算額】 8,970,000</p>
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	<p>【予算額】 155,831,000 (事) 4,417,000 (苑) 15,999,000 (輪) 74,643,000 (さ) 20,025,000 (並) 40,747,000</p> <p>【前年度予算額】 152,398,217</p>

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む)(丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供 ・生活創造活動グループサポート事業による丹波の森公苑内でのイベント等への支援(年10件)	【予算額】 180,000 【前年度予算額】 180,000
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	・消費生活出前講座の実施(年20回程度) ・消費生活にゆーすの発行(年4回)	
	イ 生活創造活動施設貸し館業務(丹波の森公苑)	県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、統一的な基準により貸与する。 [ホール天井耐震改修工事(令和3年4月~)]	
	ウ スポーツ大会・文化教室の開催(丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用するミニサッカー大会、グラウンドゴルフ大会を開催する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○ミニサッカー大会の開催(2回) ○グラウンドゴルフ大会(4回予定) ○イベント支援(スプラッシュ丹波) ○特別工作教室の充実 ○アトリエサークル教室の充実と広報	【予算額】 2,568,000 【前年度予算額】 2,321,000
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設(丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限:4年 ・募集定員:各学年60人 ・講座内容:教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催時期:4月~3月までの18回 ・受講料:12,500円 【丹波OB大学大学院】 ・学習年限:2年 ・募集定員:各学年30人 ・講座内容:教養講座・特別講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期:4月~3月までの18回 ・受講料:12,500円	【予算額】 2,358,000 【前年度予算額】 1,733,000
	イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設(丹波の森公苑)			
	ウ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)創立50周年記念事業(丹波の森公苑)	令和2年度に丹波OB大学が設立50周年(半世紀)を迎えることを記念し、記念式典をはじめとする記念事業等を実施する。(昭和45年10月18日丹波OB大学開設)	・実施時期:11月4日(水) ・実施場所:丹波の森公苑ホール、多目的ルーム他 ・参加者:来賓、受講生、修了生 ・内容:記念式典、地域実践活動発表会、記念作品展、記念誌発行	【予算額】 403,000 【前年度予算額】 0 単年度事業 (令和2年度限り)
	エ 講座「丹波学」の開設(丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	・タイトル:明智光秀~光秀は何を見たか~ ・日程:8月29日(土)~12月19日(土)の間、全5回 ・場所:丹波の森公苑多目的ルーム ・募集定員:130人 ・受講料:5,000円	【予算額】 730,000 【前年度予算額】 675,000
	オ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催(丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	・日程:9月25日(金) ・場所:多目的ルーム等 ・内容:作品展 ・参加者数:200人(丹波地域内の高齢者大学受講生など)	【予算額】 90,000 【前年度予算額】 340,000
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウイーク等受入(丹波の森公苑)(丹波年輪の里)(ささやまの森公園)(並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	中・高校生にとって、ふさわしい体験プログラムの実施。 ・トライやる・ウイーク(中学生) 6月2日(火)~6日(土) (丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園) 6月1日(月)~5日(金) (丹波並木道中央公園)	【予算額】 10,000 【前年度予算額】 10,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 (丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	【レッスン】 ・日 程：7月～10月までの15回 ・対 象 者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・指 導：劇団ウエスト ・受 講 料：6,000円 【発表公演】 ・日 程：10月18日(日) 2回公演 ・場 所：丹波の森公苑ホール ・演 目：未定 ・入 場 料：大人700円、高校生以下無料	【予算額】 1,615,000 【前年度予算額】 1,577,100
	ウ 丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援 (協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○語りベクラブの支援 ・語りベクラブ(丹波篠山市1団体、丹波市4団体)が、年間延べ140回にわたり丹波のむかしばなしを語り継ぐ活動を保育所、小学校、その他施設等で行っている。その活動を支援するとともに「むかしばなし」をホームページ等で全国に向けてPRする。	【予算額】 91,000 【前年度予算額】 84,000
(4) 公2共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	【予算額】 87,401,000 【前年度予算額】 79,100,000

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催 【丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会】	国内外からアーティストを招聴し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会が開催し、その事務局を(公財)兵庫丹波の森協会が担う。 ・オリジナル企画でシューベルツの音楽を楽しむ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」、「キン・コン・カン・コンサート」の実施等	・テーマ:未定 ・開催期間:9月27日(日)～11月14日(土) ○オープニング・サロンコンサート ・日程:9月27日(土) ・場所:お菓子の里丹波ミオール館(丹波篠山市) ・入場料:未定 ○ガラ・コンサート ・日程:11月14日(土) ・場所:丹波の森公苑ホール ・入場料:未定 ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校程度) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高・特別支援学校3校程度) ○東日本大震災復興支援(被災地訪問)	【予算額】 1,400,000 (事務局)500,000 (公苑)900,000 【前年度予算額】 1,500,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業(丹波の森公苑)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	・日程:未定 ・場所:丹波の森公苑 多目的ルーム(予定) ・内容:検討中	【予算額】 100,000 【前年度予算額】 430,500
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催(丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○第29回アートクラフトフェスティバル in たんば2020 ・日程:10月3日(土)～10月4日(日) ・出展予定者:180名 *運営組織の見直し	【予算額】 400,000 【前年度予算額】 400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催(丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに、木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	○第33回丹波の森ウッドクラフト展 ・全国公募:一般の部、ジュニアの部 ・作品展示:一般の部 9月～10月 ジュニアの部 10月～11月 ・場所:丹波年輪の里木の館ホール ・表彰式:11月	【予算額】 900,000 【前年度予算額】 900,000
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催(丹波の森公苑)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展 ・日程:①1月27日(水)～1月31日(日) ②2月4日(木)～8日(月) ・場所:①丹波の森公苑多目的ルームほか ②丹波篠山市立四季の森生涯学習センター(予定) ○文化賞受賞者小品展 ・日程:10月29日(木)～11月1日(日) ・場所:丹波の森公苑多目的ルーム	【予算額】 120,000 【前年度予算額】 120,000
	エ 展示ギャラリーの開設(丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	年間30回程度を目途に作品展示を実施	【予算額】 10,000 【前年度予算額】 10,000
	オ 伝統文化活性化支援事業(丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・日程:12月13日(日) ・場所:丹波の森公苑ホール ・出演:第12回丹波の森童謡唱歌の祭典の民俗芸能特別鑑賞部門に出演(調整中) ○子どもたちのための和楽器鑑賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・日程:11月～1月の間 ・場所:丹波管内の小学校10校	【予算額】 200,000 【前年度予算額】 200,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備 考
	カ 座っ展-丹波で座る木の椅子- (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。 「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピールする。	「第9回座っ展-丹波で座る木の椅子-」 【作品展示】 期 間：5月2日(土)～6日(水) 場 所：丹波年輪の里木の館ホール 出展予定者：11名、26脚	【予算額】 120,000 【前年度予算額】 120,000
	キ 音楽活動団体等への支援 (協会事務局)	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行うことで、音楽関係団体の発展等に寄与する。	・助成団体 丹波地域で主に活動を行っている団体または個人(地域団体の育成・支援) ・助成金額 上限5万円を年間5団体または個人に支援する。	【予算額】 253,000 【前年度予算額】 0
(3) 公3 共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	【予算額】 27,826,000 【前年度予算額】 27,285,000

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備 考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、SNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域がつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	○年報(年1回発行) ・HP等に掲載 ○協会ニュース2020 12月発行予定 関係団体に配布及びHPに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ○フェイスブック、Instagramによる情報発信 ・随時更新 ○フェノロジーカレンダー作成による情報発信 ○丹波ブランド製品のPR	【予算額】 993,000 (局) 150,000 (苑) 843,000 【前年度予算額】 983,850
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、丹波地域の住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ○丹波年輪の里運営協議会 ○ささやまの森公園運営協議会 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議	【予算額】 420,000 (苑) 200,000 (輪) 50,000 (さ) 50,000 (並) 120,000 【前年度予算額】 388,000

II 収益事業会計等

収 1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備 考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 (1) 飲み物の自販機設置 (2) 物販販売場所の提供 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売	【予算額】 5,378,000 (苑) 1,779,000 (輪) 3,360,000 (並) 240,000 【前年度予算額】 5,545,000

他 1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備 考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	・丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：30 団体 ○日本の童謡・唱歌を広める会 【第 12 回丹波の森童謡唱歌の祭典】 ・日 程：12 月 13 日 (日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ○丹波の森ふれあいステージ実行委員会 【丹波の森ふれあいステージ】 ・日 程：6 月 13 日 (土) ・場 所：丹波の森公苑ホール	【予算額】 200,000 【前年度予算額】 200,000

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備 考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ○理事会 ○監事監査 ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	【予算額】 13,206,000 (局) 12,910,000 (苑) 95,000 (輪) 66,000 (さ) 15,000 (並) 120,000 【前年度予算額】 11,596,000

令和2年度 補助事業等事業一覧表

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県補助金等収入 県補助金収入	地域振興事業補助金	兵庫県	本格的な成熟社会を迎え、自立した人々が自然と共生し、生き生きと暮らし、ともに生きることを実感できる地域社会を築くべく、県民一人ひとりの参画と協働による自律的な実践活動をより幅広く支援する観点から、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する各種活動等に対して助成を行う。	5,800	事務局
	丹波の森公苑事業運営費	兵庫県	県立丹波の森公苑の事業運営業務を行う。	3,683	森公苑
	丹波年輪の里業務運営費	兵庫県	県立丹波年輪の里の事業運営業務を行う。	2,693	年輪の里
	ささやまの森公園業務運営費	兵庫県	県立ささやまの森公園の事業運営業務を行う。	17,650	ささやまの森公園
県補助金等収入 県負担・分担金収入	経費分担金	丹波県民局	コピー機等共通経費分担金	600	森公苑
市補助金等収入 市負担・分担金収入	兵庫丹波の森協会負担金	丹波篠山市 丹波市	兵庫丹波の森協会の管理運営業務を行う。	18,300	事務局
その他補助金等収入 その他負担・分担金収入	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	丹波地区公民館連絡協議会	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学び合い交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	40	森公苑
	分担金	(公財)兵庫県青少年本部等	コピー機等共通経費分担金	50	森公苑
	丹波の森アートフェスティバル	(公財)兵庫県芸術文化協会	兵庫県芸術文化協会負担金	30	森公苑
その他補助金等収入 その他補助金収入	子どもゆめ基金助成金	独立行政法人国立青少年教育振興機構	子どもの体験活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の団体等が実施する様々な体験活動や取り組み、体験活動の振興を図る取り組みの視野を広げる様な活動を中心に支援を行う。今回、助成対象となったのは、丹波縄文の森塾の子どもの体験活動(キャンプや自然観察などの自然体験活動)である。	280	事務局
	木育キャラバン事業	兵庫県木材業協同組合連合会	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。	460	年輪の里
県受託収入 指定管理料収入	県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	県立丹波の森公苑の管理運営業務を行う。	122,463	森公苑
	県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	県立丹波年輪の里の管理運営業務を行う。	74,159	年輪の里
	県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	県立ささやまの森公園の管理運営業務を行う。	8,923	ささやまの森公園
	県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	県立丹波並木道中央公園の管理運営業務を行う。	39,650	並木道中央公園
県受託収入 その他受託収入	ミニガーデン花プランイベント開催事業	兵庫県	丹波地域のサイクリングロードの整備の取組みに合わせて、ミニガーデン(コンテナガーデン)の展示箇所を丹波地域内の道の駅など、丹波地域の主要スポットに拡大し、地域住民の手により、まち全体を花で飾る取組みを始める。	1,000	事務局

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県受託収入 その他受託収入	シンボルの森里山整備事業	兵庫県	シンボルの森(丹波の森公苑)の裏山を丹波の森を象徴する里山に整備する。	5,000	事務局
	都市公園整備費	兵庫県	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。	1,000	並木道中央公園
市受託収入 その他受託収入	太古の生きもの館の施設管理	丹波篠山市	丹波篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。	150	並木道中央公園
その他受託収入	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県生きがい創造協会	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学び合い交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	50	森公苑
	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム関連事業に係るディレクター及び総合プロデュース業務	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業ディレクター及び総合プロデューズに関するを行う。	2,000	事務局
	丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	認定したモデル団体10団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。	3,119	事務局

307,100

収支予算書（損益ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,020,000	2,020,000	0
基本財産受取利息	2,020,000	2,020,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
森づくり基金受取利息	1,000	1,000	0
受取会費	170,000	170,000	0
賛助会員受取会費	170,000	170,000	0
賛助会員受取会費	170,000	170,000	0
事業収益	28,572,000	29,678,000	△1,106,000
指定事業収益	19,416,000	20,358,000	△942,000
参加者負担金収益	6,548,000	8,276,000	△1,728,000
施設使用料収益	12,868,000	12,082,000	786,000
自主事業収益	8,011,000	8,175,000	△164,000
参加者負担金収益	4,405,000	4,247,000	158,000
商品売上収益	2,606,000	2,928,000	△322,000
手数料収益	1,000,000	1,000,000	0
補助事業活動収益	1,145,000	1,145,000	0
受取補助金等	307,100,000	303,789,000	3,311,000
受取県補助金等	30,426,000	30,274,000	152,000
受取県補助金	29,826,000	29,674,000	152,000
受取県負担・分担金	600,000	600,000	0
受取市補助金等	18,300,000	18,300,000	0
受取市負担・分担金	18,300,000	18,300,000	0
受取その他補助金等	860,000	880,000	△20,000
受取その他補助金	740,000	800,000	△60,000
受取その他負担・分担金	120,000	80,000	40,000
県受託収益	252,195,000	248,033,000	4,162,000
指定管理料収益	245,195,000	230,033,000	15,162,000
その他受託収益	7,000,000	18,000,000	△11,000,000
市受託収益	150,000	150,000	0
その他受託収益	150,000	150,000	0
その他受託収益	5,169,000	6,152,000	△983,000
受取寄附金	251,000	1,000	250,000

収支予算書（損益ベース）

No. 2

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
受取森づくり基金寄附金	251,000	1,000	250,000
雑収益	287,000	287,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	286,000	286,000	0
経常収益計	338,401,000	335,946,000	2,455,000
(2) 経常費用			
事業費	329,772,000	323,136,000	6,636,000
報酬	44,977,000	40,139,000	4,838,000
非常勤嘱託職員報酬	44,977,000	40,139,000	4,838,000
給料手当	76,859,000	73,652,000	3,207,000
給料手当	76,859,000	73,652,000	3,207,000
福利厚生費	27,715,000	27,896,000	△181,000
法定福利費	27,360,000	27,578,000	△218,000
その他福利厚生費	355,000	318,000	37,000
賃金	9,992,000	14,843,000	△4,851,000
諸謝金	5,871,000	6,302,000	△431,000
講師謝金	2,729,000	2,971,000	△242,000
その他謝金	3,142,000	3,331,000	△189,000
旅費交通費	7,349,000	6,523,000	826,000
通勤旅費交通費	3,989,000	3,551,000	438,000
役員・職員旅費交通費	1,820,000	1,418,000	402,000
講師旅費交通費	628,000	590,000	38,000
その他旅費交通費	912,000	964,000	△52,000
消耗品費	10,826,000	11,570,000	△744,000
燃料費	2,189,000	2,110,000	79,000
会議費	279,000	173,000	106,000
印刷製本費	2,578,000	3,178,000	△600,000
光熱水費	16,663,000	16,127,000	536,000
修繕費	23,042,000	26,334,000	△3,292,000
商品仕入費	1,300,000	1,800,000	△500,000
通信運搬費	2,665,000	2,789,000	△124,000
広告料	996,000	1,013,000	△17,000
手数料	2,531,000	2,524,000	7,000
保険料	1,877,000	1,911,000	△34,000
自動車損害保険料	646,000	660,000	△14,000

収支予算書（損益ベース）

No. 3

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
その他保険料	1,231,000	1,251,000	△20,000
委託料	60,037,000	57,569,000	2,468,000
使用料及び賃借料	10,961,000	9,243,000	1,718,000
会場借上料	1,728,000	2,152,000	△424,000
NHK受信料	126,000	129,000	△3,000
各種リース料	7,484,000	5,367,000	2,117,000
その他の使用料及び賃借料	1,623,000	1,595,000	28,000
備品購入費	210,000	160,000	50,000
受入備品購入費	210,000	160,000	50,000
負担・分担金及び補助金	3,962,000	3,596,000	366,000
補助金	1,120,000	740,000	380,000
負担・分担金	2,842,000	2,856,000	△14,000
租税公課費	11,888,000	13,666,000	△1,778,000
自動車重量税	0	35,000	△35,000
消費税	11,839,000	13,549,000	△1,710,000
印紙税	49,000	82,000	△33,000
工事請負費	4,987,000	0	4,987,000
雑費	18,000	18,000	0
雑費	18,000	18,000	0
管理費	13,173,000	12,810,000	363,000
報酬	4,930,000	4,920,000	10,000
役員報酬	4,930,000	4,920,000	10,000
給料手当	5,175,000	5,157,000	18,000
給料手当	5,175,000	5,157,000	18,000
福利厚生費	1,650,000	1,605,000	45,000
法定福利費	1,650,000	1,590,000	60,000
その他福利厚生費	0	15,000	△15,000
旅費交通費	62,000	62,000	0
役員・職員旅費交通費	62,000	62,000	0
消耗品費	91,000	191,000	△100,000
会議費	4,000	5,000	△1,000
通信運搬費	0	18,000	△18,000
手数料	23,000	23,000	0
委託料	576,000	272,000	304,000
使用料及び賃借料	365,000	213,000	152,000

収支予算書（損益ベース）

No. 4

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
会場借上料	20,000	20,000	0
各種リース料	0	128,000	△128,000
その他の使用料及び賃借料	345,000	65,000	280,000
負担・分担金及び補助金	252,000	267,000	△15,000
負担・分担金	252,000	267,000	△15,000
租税公課費	22,000	52,000	△30,000
消費税	20,000	50,000	△30,000
印紙税	2,000	2,000	0
支払利息	20,000	20,000	0
雑費	3,000	5,000	△2,000
経常費用計	342,945,000	335,946,000	6,999,000
当期経常増減額	△4,544,000	0	△4,544,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△4,544,000	0	△4,544,000
一般正味財産期首残高	100,104,786	32,633,482	67,471,304
一般正味財産期末残高	95,560,786	32,633,482	62,927,304
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△250,000	0	△250,000
一般正味財産への振替額（受取寄附金）	△250,000	0	△250,000
当期指定正味財産増減額	△250,000	0	△250,000
指定正味財産期首残高	202,000,011	202,000,000	11
指定正味財産期末残高	201,750,011	202,000,000	△249,989
III 正味財産期末残高	297,310,797	234,633,482	62,677,315

収支予算書内訳表

会計区分 全体

事業区分

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内閣取引等割去	合計
	森林文化(脚燈づくり)の創設	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)	小計	収益事業	その他事業			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	2,020,000	0	0	0	2,020,000	0	0	0	0	2,020,000
基本財産受取利息	2,020,000	0	0	0	2,020,000	0	0	0	0	2,020,000
特定資産運用益	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
森づくり基金受取利息	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
受取会費	170,000	0	0	0	170,000	0	0	0	0	170,000
賛助会員受取会費	170,000	0	0	0	170,000	0	0	0	0	170,000
事業収益	8,718,000	14,190,000	280,000	200,000	23,388,000	4,984,000	200,000	5,184,000	0	28,572,000
指定事業収益	3,851,000	13,421,000	280,000	200,000	17,752,000	1,464,000	200,000	1,664,000	0	19,416,000
自主事業収益	4,400,000	91,000	0	0	4,491,000	3,520,000	0	3,520,000	0	8,011,000
補助事業活動収益	467,000	678,000	0	0	1,145,000	0	0	0	0	1,145,000
受取補助金等	180,515,000	81,005,000	30,796,000	1,213,000	293,529,000	365,000	0	365,000	0	397,100,000
受取県補助金等	24,981,000	3,515,000	1,740,000	175,000	30,411,000	0	0	0	0	30,426,000
受取市補助金等	5,065,000	91,000	250,000	75,000	5,390,000	0	0	0	0	5,390,000
受取その他補助金等	740,000	90,000	30,000	0	860,000	0	0	0	0	860,000
県受託収益	144,460,000	77,350,000	28,776,000	963,000	251,549,000	365,000	0	365,000	0	252,195,000
市受託収益	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	0	150,000
その他受託収益	5,119,000	50,000	0	0	5,169,000	0	0	0	0	5,169,000
受取寄附金	1,000	0	250,000	0	251,000	0	0	0	0	251,000
受取森づくり基金寄附金	1,000	0	250,000	0	251,000	0	0	0	0	251,000
雑収益	1,704,000	251,000	0	0	1,955,000	30,000	0	30,000	0	2,015,000
雑収益	0	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
雑収益	6,000	250,000	0	0	256,000	30,000	0	30,000	0	286,000
内部取引収益	1,698,000	0	0	0	1,698,000	0	0	0	0	1,698,000
経常収益計	193,129,000	95,446,000	31,326,000	1,413,000	321,314,000	5,379,000	200,000	5,579,000	0	338,401,000
(2) 経常費用										
事業費	197,670,000	95,446,000	31,329,000	1,413,000	325,858,000	5,379,000	200,000	5,579,000	0	339,772,000
報酬	31,028,000	9,812,000	3,936,000	0	44,776,000	201,000	0	201,000	0	44,977,000
給料手当	53,473,000	6,755,000	16,493,000	0	76,721,000	138,000	0	138,000	0	76,859,000
福利厚生費	15,549,000	4,794,000	7,259,000	0	27,602,000	98,000	0	98,000	0	27,715,000
賃金	9,992,000	0	0	0	9,992,000	0	0	0	0	9,992,000
諸謝金	3,811,000	1,637,000	206,000	217,000	5,871,000	0	0	0	0	5,871,000
旅費交通費	5,891,000	985,000	260,000	123,000	7,259,000	10,000	80,000	90,000	0	7,349,000
消耗品費	7,243,000	2,531,000	74,000	63,000	9,911,000	865,000	50,000	915,000	0	10,826,000
燃料費	984,000	1,181,000	0	0	2,165,000	24,000	0	24,000	0	2,189,000
会議費	219,000	41,000	14,000	5,000	279,000	0	0	0	0	279,000
印刷製本費	1,803,000	750,000	25,000	0	2,578,000	0	0	0	0	2,578,000
光熱水費	6,366,000	9,907,000	0	0	16,273,000	390,000	0	390,000	0	16,663,000
修繕費	2,755,000	19,132,000	0	0	21,887,000	1,155,000	0	1,155,000	0	23,042,000

収支予算書（資金ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	2,020,000	2,020,000	0	
② 特定資産運用収入				
森づくり基金利息収入	1,000	1,000	0	
③ 会費収入				
賛助会員会費収入				
賛助会員会費収入	170,000	152,000	18,000	
④ 事業収入				
指定事業収入				
参加者負担金収入	6,548,000	5,883,600	664,400	
施設使用料収入	12,868,000	12,368,000	500,000	
自主事業収入				
参加者負担金収入	4,405,000	3,200,000	1,205,000	
商品売上収入	2,606,000	2,897,000	△291,000	
手数料収入	1,000,000	1,350,000	△350,000	
補助事業活動収入	1,145,000	1,445,000	△300,000	
⑤ 補助金等収入				
県補助金等収入				
県補助金収入	29,826,000	29,874,000	△48,000	
県負担・分担金収入	600,000	600,000	0	
市補助金等収入				
市負担・分担金収入	18,300,000	18,300,000	0	
その他補助金等収入				
その他補助金収入	740,000	1,056,000	△316,000	
その他負担・分担金収入	120,000	120,000	0	
県受託収入				
指定管理料収入	245,195,000	230,876,217	14,318,783	
その他受託収入	7,000,000	12,868,926	△5,868,926	
市受託収入				
その他受託収入	150,000	150,000	0	
その他受託収入	5,169,000	7,690,850	△2,521,850	
⑥ 寄附金収入				
森づくり基金寄附金収入	1,000	1,000	0	

収支予算書（資金ベース）

No. 2

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
⑦ 雑収入				
利息収入	1,000	1,000	0	
雑収入	286,000	1,845,000	△1,559,000	
事業活動収入計	338,151,000	332,699,593	5,451,407	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
報酬支出	44,977,000	38,250,000	6,727,000	
給料手当支出	76,859,000	72,501,000	4,358,000	
福利厚生費支出	27,715,000	26,666,000	1,049,000	
賃金支出	9,992,000	15,426,000	△5,434,000	
諸謝金支出	5,871,000	4,936,602	934,398	
旅費交通費支出	7,349,000	5,327,780	2,021,220	
消耗品費支出	10,826,000	13,976,602	△3,150,602	
燃料費支出	2,189,000	2,031,000	158,000	
会議費支出	279,000	205,735	73,265	
印刷製本費支出	2,578,000	3,196,025	△618,025	
光熱水費支出	16,663,000	16,163,000	500,000	
修繕費支出	23,042,000	16,635,800	6,406,200	
商品仕入費支出	1,300,000	900,000	400,000	
通信運搬費支出	2,665,000	2,452,102	212,898	
広告料支出	996,000	841,500	154,500	
手数料支出	2,531,000	2,132,722	398,278	
保険料支出	1,877,000	1,788,407	88,593	
委託料支出	60,037,000	59,924,350	112,650	
使用料及び賃借料支出	10,961,000	9,882,492	1,078,508	
備品購入費支出	210,000	1,224,000	△1,014,000	
負担・分担金及び補助金支出				
補助金支出	1,120,000	727,000	393,000	
負担・分担金支出	2,842,000	3,870,000	△1,028,000	
租税公課費支出	11,888,000	13,387,326	△1,499,326	
工事請負費支出	4,987,000	8,767,000	△3,780,000	
雑支出				
雑支出	18,000	123,000	△105,000	
② 管理費支出				
報酬支出	4,930,000	5,000,000	△70,000	

収支予算書（資金ベース）

No. 3

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
給料手当支出	5,175,000	3,638,000	1,537,000	
福利厚生費支出	1,650,000	1,605,000	45,000	
旅費交通費支出	62,000	62,000	0	
消耗品費支出	91,000	287,000	△196,000	
会議費支出	4,000	1,000	3,000	
通信運搬費支出	0	38,000	△38,000	
手数料支出	23,000	237,000	△214,000	
保険料支出	0	26,000	△26,000	
委託料支出	576,000	272,000	304,000	
使用料及び賃借料支出	365,000	122,000	243,000	
負担・分担金及び補助金支出				
負担・分担金支出	252,000	257,000	△5,000	
租税公課費支出	22,000	38,000	△16,000	
支払利息支出	20,000	13,000	7,000	
雑支出	3,000	0	3,000	
事業活動支出計	342,945,000	332,931,443	10,013,557	
事業活動収支差額	△4,794,000	△231,850	△4,562,150	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 基金取崩収入				
期間基金取崩収入	250,000	0	250,000	
投資活動収入計	250,000	0	250,000	
2 投資活動支出				
① 基金取得支出				
一般募金積立金支出	2,000	2,000	0	
投資活動支出計	2,000	2,000	0	
投資活動収支差額	248,000	△2,000	250,000	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△4,546,000	△233,850	△4,312,150	
前期繰越収支差額	21,087,156	21,321,006	△233,850	

収支予算書（資金ベース）

No. 4

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和02年04月01日 から 令和03年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
次期繰越収支差額	16,541,156	21,087,156	△4,546,000	